

アイリス事件簿（ニュース）！！

2月1日に、とある塾で「子どもたちの幸せな未来のために」というタイトルで小学校低学年のお子様をお持ちの保護者の方にセミナーをしました。遊ぶ場所がなくなり、受験やいじめでストレスがたまる今のお子さん達の現状を話し合い、受験だけではなく、感謝や思いやりの心、自分で考える力（＝生きる力）も必要だとお話をさせていただきました。（山根）



今月のトピックス ～「100年に1度の経済危機」について～



昨年のアメリカ発金融ショック以降、当法人のお客様企業においても、受注減、売上減に見舞われているところがあります。しかしそんな不況風がふくなかでも、ユニクロが好調であったり、日本マクドナルドの売上高が最高であったりと、儲かっている企業もあります。よく大阪の商売人どうして「景気はどうですか？」という質問に対して、「あきまへんな」と答え、「あきまへん」同士が安心しあう光景がありますが、あれはいけません。結局現状の悪い状態を肯定し、状態の悪い者同士が連帯しているだけで、学校の試験で悪い点数をとった者同士が慰め合っているようなものです。

日経ベンチャー2月号に松下幸之助とスティーブ・ジョブズの記事が出ていたのですが、この2人に共通しているのは、「経営不振を不景気のせいにはしない」という強い信念だそうです。「好況よし、不況さらによし」という言葉は、松下幸之助の言葉ですが、1929年の世界恐慌下においても、従業員を解雇せず、給与は全額支給、抱えていた在庫を2か月で一括したそうです。また、アップル社のiPODは、アメリカの同時多発テロの起こった翌月に発売され、売れるわけがないという業界関係者の見方に反し、大ヒット商品となります。ジョブズには「景気が悪いからものが売れない」という考え方はないのです。

先月24日「ユダヤ人大富豪の教え」などの著作で知られる本田健氏の講演会に行ってきたのですが、このなかで本田氏は、2009年に起こりうる最悪のシナリオも想定しつつ、1930年代の世界恐慌時に困った人として①特別なスキルを持たない人②自分で仕事を生み出せない人③安定志向の人④「まさか」を予想しなかった人⑤人生観がはっきりしていなかった人を挙げていました。これは、2009年現在にも当てはまる基準だと思います。つまり周りの経済状況に左右されことなく、①特別なスキルがある＝人から仕事を頼まれ②自分で仕事を生みだし、需要を創出し③リスクをテイクし④まさかという最悪の事態にも適応可能な柔軟性を備え、⑤自分にとっての幸せの基準がはっきりしている人は、2009年現在も荒波を乗り越えていく人と言えるでしょうね（角野）。

《アイリスー口情報》

先日堺に行き、駅からタクシーを利用したのですが、すごく人の良いタクシーの運転手さんに出会いました。人と人のお付き合いが薄れていると言われるご時世だからこそ、とても心がポカポカになり、また、相次いだ事件に心が痛みます。（山根）

第5回外国人雇用・ビザ相談会 開催！

日時：平成21年2月19日（木）

15時～18時の1時間（予約制）

料金：5,250円（珈琲付き）

アイリス行政書士法人

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目13番24号 アンシャンテ新大阪503号

TEL 06-6889-6018 FAX 06-6889-6048

info@iris-gyosei.com

http://www.iris-gyosei.com